

ケーベル先生の告別

夏目漱石

青空文庫

ケーベル先生は今日（八月十二日）日本を去るはずになっている。しかし先生はもう二、三日まえから東京にはいないだろう。先生は虚儀虚礼をきらう念の強い人である。二十年前大学の招^{しょう}聘^{へい}にに応じてドイツを立つ時にも、先生の気性を知っている友人は一人も停車場へ送りに来なかつたという話である。先生は影のごとく静かに日本へ来て、また影のごとくこつそり日本を去る氣らしい。

静かな先生は東京で三度居を移した。先生の知っている所はおそらくこの三軒の家と、そこから学校へ通う道路くらいなものだろう。かつて先生に散歩をするかと聞いたら、先生は散歩をするところがないから、しないと答えた。先生の意見によると、町は散歩すべきものでないのである。

こういう先生が日本という国についてなにも知らうはずがない。また知らうとする好奇心をもっている道理もない。私が早稲田^{わかし わせだ}にいると言つてさえ、先生には早稲田の方角がわからないくらいである。深田^{ふかだ}君に大隈伯^{おおくま}のうちへ呼ばれた昔を注意されても、先生はすでに忘れている。先生には大隈伯の名さえはじめてであつたかもしれない。

私が先月十五日の夜晚^{よばん}餐^{さん}の招待を受けた時、先生に国へ帰つても朋友^{ほうゆう}がいますか

と尋ねたら、先生は南極と北極とは別だが、ほかのところならどこへ行っても朋友はいると答えた。これはもとより冗談であるが、先生の頭の奥に、区々たる場所を超越した世界的の観念が潜んでいればこそ、こんな挨拶あいさつもできるのだろう。またこんな挨拶ができればこそ、たいした興味もない日本に二十年もながくいて、不平らしい顔を見せる必要もなかったのだろう。

場所ばかりではない、時間のうえでも先生の態度はまったく普通の人と違っている。郵船会社の汽船は半分荷物船にもつぶねだから船足がおそいのに、なぜそれをえらんだのかと私が聞いたら、先生はいくら長く海の中に浮いても苦にはならない、それよりも日本からベリンまで十五日で行けるとか十四日で着けるとかいつて、旅行が一日でも早くできるのを、非常の便利らしく考えている人の心持ちがわからないと言った。

先生の金銭上の考えも、まったく西洋人とは思われないくらい無頓着むとんじやくである。先生の宅うちに厄介やっかいになつていたものなどは、ずいぶん経済の点にかけて、普通の家には見るべからざる自由を与えられているらしく思われた。このまえ会った時、ある蓄財家の話が出たら、いったいあんなに金をためてどうするりようけんだろうと言って苦笑していた。先生はこれからさき、日本政府からもう恩給と、今までの月給の余りとで、暮らしてゆくのか

だが、その月給の余りというのは、天然自然にできたほんとうの余りで、用意の結果でもなんでもないのである。

すべてこんなふうにでき上がっている先生にいちばん大事なものは、人と人を結びつける愛と情けだけである。ことに先生は自分の教えてきた日本の学生がいちばん好きらしくみえる。私が十五日の晩に、先生の家を辞して帰ろうとした時、自分は今日日本を去るに臨んで、ただ簡単に自分の朋友、ことに自分の指導を受けた学生に、「さようならごきげんよう」という一句を残して行きたいから、それを朝日新聞に書いてくれないかと頼まれた。先生はそのほかの事を言うのはいやだというのである。また言う必要がないというのである。同時に広告欄にその文句を出すのも好まないというのである。私はやむをえないから、ここに先生の許諾を得て、「さようならごきげんよう」のほかに、私自身の言葉だそくを蛇足ながらつけ加えて、先生の告別の辞が、先生の希望どおり、先生の薫陶くんとうを受けた多くの人々の目に留まるように取り計らうのである。そうしてその多くの人々に代わって、先生につつがなき航海と、穏やかな余生とを、心から祈るのである。

青空文庫情報

底本：「硝子戸の中」角川文庫、角川書店

1954（昭和29）年6月10日初版発行

1994（平成6）年3月10日改版21版発行

入力：柴田卓治

校正：しず

1999年9月9日公開

2003年10月29日修正

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（<http://www.aozora.gr.jp/>）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

ケーベル先生の告別

夏目漱石

2020年 7月18日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>